



発行

社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内

TEL 54-4540 FAX 51-1880 ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/>

社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

社協HP▶



第55回尾張旭市 社会福祉大会を開催



▲第54回尾張旭市社会福祉大会の様子

- とき 2月7日(土) 午後1時30分～4時 ※受付は午後1時から
- ところ 尾張旭市文化会館 文化会館ホール
- 内容 式典…午後1時30分～2時30分
講演…午後2時40分～4時
※講演の開始時間は、式典の進行状況により前後する場合がありますのでご了承ください。
- 講師 林 ともみ 氏(ラジオサンキュー福祉番組「ともみとともに」パーソナリティ)
- テーマ まあるく生きる～幸せのカタチ。～

contents (主な項目)

- 第55回尾張旭市社会福祉大会
- 大垣市社会福祉協議会と協定を締結しました
- あさひ支えあいサロン開設助成事業
- あさひ生活応援サポーターの募集
- ボランティアセンターからのお知らせ
- 知るサポだよりNo.43
- 生活福祉資金貸付制度
- 令和7年度会員加入のお礼
- 会員の皆さんへお得な情報
- 寄付者一覧

第55回尾張旭市社会福祉大会を開催します



▲受賞おめでとう！(第54回受賞者)

社会福祉大会とは、日頃から福祉にご尽力いただいているかたがたの長年にわたる活躍を顕彰し、地域福祉の一層の推進を図るための大会です。

式典後には、ラジオサンキュー福祉番組「ともみとともに」パーソナリティ 林 ともみ 氏をお招きし、「まあるく生きる～幸せのカタチ～」をテーマにご講演いただきます。

地域福祉活動にご活躍の皆さんをはじめ、福祉に関心のあるかたの参加をお待ちしています。

社会福祉大会 講師プロフィール



■林 ともみ (はやし ともみ) 氏

本名 池戸 智美 (いけど ともみ)。瀬戸市手をつなぐ育成会会長。競輪番組テレビキャスター、ラジオリポーターを経て、2009年より、ラジオサンキューFM84.5にてパーソナリティを務める。福祉番組「ともみとともに」では、心のバリアフリーの浸透をめざして明るく福祉を発信中！

司会・パーソナリティなどのほか、21番環状染色体の長女・美優(みゆ)と歩む日々や仕事をテーマに講演活動も精力的に行っている。

著書：まあるく生きる～幸せのカタチ。～(ごま書房新社)

社会福祉法人大垣市社会福祉協議会と「災害時における相互応援及び地域交流に関する協定」を締結しました

令和7年9月26日(金)に大垣市総合福祉会館で協定締結式を行い、大垣市社会福祉協議会の今川喜章会長と本会の秋田誠会長が協定書に署名した後、今後の連携の在りかたや検討すべき課題などについて意見交換しました。

この協定は、両市のいずれかにおいて、地震、暴風、豪雨、洪水などの災害が発生し、被災地独自では十分な応急対策などが実施できない場合に、被災者及び被災地の救援活動が迅速かつ円滑に行われること、また、平常時においても相互の交流を深め、両市における地域福祉の推進を図ることを目的としています。



▲大垣市社協今川会長(左)と尾張旭市社協秋田会長(右)

<応援の内容>

- (1)災害ボランティアセンターの設置及び運営に必要な職員の派遣
- (2)救援活動及び機能確保のために必要な資機材や救援物資などの提供
- (3)被災地域が必要とする事項に対する災害ボランティアの派遣 (4)その他、特に要請のあった事項

尾張旭市社会福祉協議会(保健福祉センター)の利用時間変更のお知らせ

保健福祉センターの開館時間変更に伴い、利用時間を次のとおり2段階で変更します。

変更前
午前8時30分～午後5時15分



第1段階
午前9時～午後5時【令和8年1月13日(火)～9月30日(火)】
第2段階
午前9時～午後4時【令和8年10月1日(休)以降】

*電話応対も、原則利用時間に合わせた運用とします。

*渋川ボランティアセンター利用時間(午前9時～午後5時)の変更はありません。

地域のサロン活動の立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数:原則として、月1回以上
- ②活動内容:参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加人数:概ね5人以上
- ④会場:公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者:活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介②



【三郷中部会 サロン「よりどころ」】

令和7年4月に本事業を活用していただきました。

- ①活動拠点
- ②活動日時
- ③参加費
- ④活動内容
- ⑤目的・特色

①東部市民センター内 東部老人いこいの家 ②毎月第4金曜日午後1時～3時 ③200円 ④脳トレ、ゲーム、数独、お話して楽しく交流 ⑤地域のつながりの希薄化とひとり暮らしのかたが多くなる中、気軽におしゃべりでき「ここに来れば少し心が軽くなった」と思える場所を提供し、参加者みんなが楽しく生きていくこと、健康寿命をのばすことを目的に開催しています。みなさんのご参加をお待ちしています。

あなたの思いやりとやさしさを地域の高齢者にお届けしてみませんか!

あさひ生活応援サポーター募集中!!

ご高齢のかたが、住み慣れた地域でその人らしく安心した生活を送ることができるよう、日常生活のちょっとした困りごとをお手伝いする生活応援サポーターを募集しています。

活動いただく内容は、簡単な掃除や家具の搬出、庭の手入れ、話し相手などで、活動時間は1回あたり最大60分です。ちょっとした空いた時間にお手伝いいただけませんか。

生活応援サポーターの活動に興味のあるかた、ご連絡をお待ちしています。



令和7年度あさひ生活応援サポーター視察研修会を開催しました



▲研修会の様子

令和7年11月11日(火)に令和7年度あさひ生活応援サポーター視察研修会を開催しました。当日は、7人のサポーターが参加し、一宮市におけるちょこボラサービスについて説明を受けたほか、ボランティア同士の交流を行いました。

研修会を通じて、「思いやり」や「お互いさまの心」と多くのかたの支え合いが、人にやさしい地域づくりに重要であることを再確認することができ、とても有意義な時間となりました。今後も尾張旭市における支え合い活動の推進と、新しい取り組みへの契機とするため他市町への視察研修会を実施していきます。

【申し込み及び問い合わせ先】 生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

ボランティアサロンのご案内

あさひ健康
マイスター
子ども向け
対象事業

ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を毎月1回開催しています。この機会にボランティア活動に触れてみませんか。

○申し込み及び問い合わせ先 渋川ボランティアセンター

〈2月・3月・4月のボランティアサロン〉 ※定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

とき	2月19日(木) 午後1時～3時	3月27日(金) 午前10時～正午	4月8日(水) 午後1時30分～3時
ところ	渋川福祉センター 2階 くすのきホール	渋川福祉センター 1階 ボランティア室	渋川福祉センター 1階 ボランティア室
内容	「出前カラオケ」 ～自由に歌って心も声もリフレッシュ～	竹でつくる風車 <small>かざぐるま</small>	創作風景をもとに 物語をつくろう!
講師	サロンアマビエ「出前カラオケ」	寺尾 時春 氏	光成 仁志 氏
参加費	無料	300円	300円
定員	20人	10人	10人

尾張旭おもちゃ図書館のご案内



本会が実施する尾張旭おもちゃ図書館は、発育や発達に心配があるお子さんとその保護者を対象に、おもちゃで楽しく遊ぶことでお子さんの健やかな成長につながることを願って開館しています。

開館日	①毎週木曜日 午後1時～4時 ②第4土曜日 午前10時～正午
開館場所	おもちゃ図書館(渋川福祉センター内)
問い合わせ先	社会福祉協議会



▲楽しいおもちゃがいっぱい!

おもちゃ図書館ボランティアぽっけ会員募集中!

現在、尾張旭おもちゃ図書館の運営をお手伝いいただくボランティアを募集しています。ぜひご協力ください。



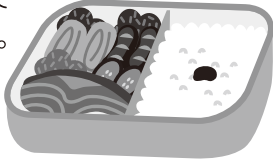
▲活動の様子

活動日時	次のうち月2、3回程度 ①毎週木曜日午後1時～4時30分 ※午後1時～3時、午後2時30分～4時30分のシフト制 ②第4土曜日午前10時～正午 ③第2水曜・第4木曜午前10時30分～正午 (移動おもちゃ図書館)
活動場所	おもちゃ図書館(①・②)またはピンポンパン教室(③)
問い合わせ先	社会福祉協議会

宅配ボランティア募集

本会では、ひとり暮らしの高齢者に昼食用の手作り弁当を届けるボランティア給食サービスを、ボランティアグループくすの木会の協力のもと、実施しています。

利用者のかたは月に1度のボランティアとの会話をとても楽しみにしています。心のこもったお弁当をひとり暮らしの高齢者宅へ宅配する活動をしてみませんか。



▶お弁当宅配の様子



活動日	第4月曜日 午前11時30分～
受け渡し場所	中央公民館 2階 203実習室
問い合わせ先	社会福祉協議会

尾張旭市ジュニアリーダーズクラブに入りませんか？

尾張旭市ジュニアリーダーズクラブ (JLC) は、子ども会活動などを支援する中学1年生から高校3年生までのボランティア団体です。現在約20人の仲間が楽しく活動しています。

○入会したいときは？

事務局 (社会福祉協議会内) に入会届及び会員登録書を提出してください。

ただし、入会には保護者の同意が必要です。

なお、会費は年額1,000円です。随時受け付けていますのでお気軽にお問い合わせください。

○申し込み及び問い合わせ先

社会福祉協議会



○こんな活動をしています。

研修キャンプ

キャンプの派遣に備えて、実際にキャンプを体験し、かまどやキャンプファイヤーなどの研修を実施します。



会員同士の交流

他市町のジュニアリーダーとの交流会に参加することができます。もしかしたらお友達になれるかも？



定例研修会

毎月1回、派遣活動に必要な知識やゲームなどを覚えて練習します。

派遣活動

子ども会や地域の団体が開催する行事のお手伝いやゲームの進行などをします。

ひまわりサン

JLCが企画・運営する宿泊研修会です。市内の小学生を対象に開催しています。

『ひまわりサン』参加者募集!!

と き：3月7日(土)～3月8日(日)の1泊2日

と ころ：春日井市少年自然の家

※尾張旭駅よりバスで送迎

対象者：市内在住または在学の小学5・6年生

参加費：3,000円

定 員：15人

内 容：ジュニアリーダーとのレクリエーションなど

申し込み先

社会福祉協議会

申し込み期限

1月23日(金)

※ただし定員になり次第締切

小学校で「認知症サポーター養成講座」を開催しました

9月と10月に市内の3つの小学校で5年生を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

介護保険事業所職員、医療機関職員、市役所職員、地域包括支援センター職員が集まって「認知症って何?」や「認知症の人とのかかわりかた」について、スライドを使ってわかりやすく説明したり、認知症のかたに起こりがちな場面を劇にして、子どもたちにどうやって接するとよかったのかを考えてもらいました。

皆さん熱心に話を聞いてくれて、新たに191人の認知症サポーターが誕生しました。

また、講義終了後に行ったアンケートでは「自分が(認知症に)なる可能性があるから、優しく対応したい。」「認知症の人がいたら、大丈夫だよと、あたたかい言葉をかけてあげることができると思います。」などの感想をいただきました。

認知症になっても住み慣れた地域で生活続けることができるまちづくりのために、引き続き活動に取り組んでいきます。



▲養成講座の様子

人生100年時代! あなたの筋肉は大丈夫?

『人間は、筋肉から衰えていく動物であり、衰えるのも、よみがえるのも、元気に長生きできるかどうかのカギも、筋肉が握っています。(筑波大学大学院人間総合科学研究科:久野譜也教授)』

全身の筋肉の6～7割は下半身に集まっており、歩くことは下半身の筋肉を刺激・活性化・トレーニングして全身の血流を改善することにつながります。

まずは、あなたの筋肉の状態をチェックしてみましょう。

《足の老化チェックリスト》

- 1日20分以上歩けていない
- 歩くとすぐに足がだるくなる
- 歩くとすぐに疲れる感じがする
- 最近、つまずきやすくなった
- 歩くスピードが落ちてきた
- ひざに痛みがある
- 足の指に痛みやしびれがある
- 腰に痛みがある
- 足に力が入らない
- 階段の上り下りがスムーズにできない
- 足にむくみがある
- 歩くときに目線が下がる
- 最初の1歩が出にくい
- 気がつくと、イスがないか探してしまう

1～2個:大きな心配はないが、将来に向けての危険信号かも。運動不足解消の努力が必要です。

3～4個:筋肉量が落ちて、ますます歩けなくなる前に、早急な予防策が必要です。

5個以上:現状を放置しない!無理を

せず、自宅で運動量と筋肉量を増やしましょう。

「歩きたいのに歩けない」「歩くのがしんどい」人のために、日本初の足の総合病院下北沢病院院長を務めた、足の専門医である形成外科医の菊池守氏考案「すごい足踏み～入門編～」をご紹介します。椅子に座って行うことができ実際に歩かなくても、歩いたときと同様の健康の維持・増進効果が得られる運動です。

まずは準備運動をしてみましょう。

○壁ドンふくらはぎ伸ばし

①壁に向かって立ち、両腕の肘を伸ばした状態で両手のひらを壁につけます。

②左足を後ろへ一歩さげます。

③少しずつ壁に体重をかけ、左右のつま先をまっすぐ前に向けたまま、右足のひざをゆっくり曲げ20秒キープしましょう。

④①～③を20秒ずつ、左右両足3セットずつ行う。

○すごい足踏み

・上半身はリラックスして、イスに浅めに腰掛けます。

・背筋を伸ばします。骨盤をきちんと起こし、前傾させた状態で腹筋に力を入れましょう。

・ひざ、股関節の角度は足が地面についた状態で90度になるようにします。

①基本姿勢をとりスタートします。

②その場で足踏み。足は床より10センチの高さまで上げ、床につくときは、足裏全体で。手足の動きを大きく、リズムよく動かしましょう。

③まずは1分間繰り返します。慣れてきたら長く続けると効果はアップします。

元気に長生きするために、今日から始めてみませんか。

「サロン」で見つける、 あなたの居場所

近年、核家族化やご近所づきあいの減少により、人とのつながりが希薄になりがちです。実は、こうした交流の減少は、寂しさを感じるだけでなく、脳の働きにも影響を与えていると言われています。

だからこそ、地域でのふれあいが大切です。尾張旭市内には、どなたでも気軽に参加できる「サロン」がたくさんあるのをご存じですか。

サロンは、個人宅や公民館、老人いこいの家などで開催されており、内容は次のとおりです。

- ◇お茶を飲みながら季節を感じるイベントやおしゃべりの場
- ◇編み物や工作を楽しむ創作の

時間

◇ラジオ体操や軽い運動、脳トレで健康づくり など

どのサロンも笑顔とあたたかさにあふれています。

また、認知症に対応したサロンもありますので、認知症のかたでも安心して参加できます。

人とのつながりは、心の健康だけでなく、生活習慣病や認知症の予防にもつながる大切な要素です。ぜひ、お近くのサロンをのぞいてみませんか。

「どこにあるのか分からない…」というかたには、便利な情報冊子『あさひ おでかけガイド いこまいか』がおすすめです。小学校区や町内ごとにサロンを探せるので、ご自宅の近くの居場所がすぐに見つかり

ます。

この『あさひ おでかけガイド いこまいか』は、地域包括支援センターの窓口で配布しているほか、社会福祉協議会のホームページからもご覧いただけます。

右記の二次元コードから「小地域ケア会議」ページがひらけます。



ページの最下部に『あさひ おでかけガイド いこまいか』を掲載しておりますので、ご覧ください。



●生活福祉資金貸付制度のご案内(貸付対象=低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯)

①総合支援資金(※低所得世帯のみ対象)

失業など日常生活全般の困難や生活の立て直しのために、一時的な資金を要し、継続的な相談支援をすることで自立が見込まれる世帯に貸付けします。

【対象とならない世帯】

- ・他の債務の返済充てや借り替え目的の場合
- ・他の公的給付または貸付(生活保護、失業等給付(待機期間中を含む。)、年金など)を受けている世帯及び受けることができる世帯など

②福祉資金

日常生活上で、または自立生活に資するために、具体的な利用目的があり、一時的に必要であると見込まれる費用を貸付けします。

③教育支援資金

(※低所得世帯のみ対象)

学校教育法に規定する高校・短大・大学・専修学校に修学するための費用と入学に際し必要な経費を貸付けします。

修学する本人が資金の借受人になります。

④不動産担保型生活資金

(※高齢者世帯のみ対象)

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する低所得の高齢者世帯に対し、不動産を担保として生活資金を貸付けします。

●臨時特例つなぎ資金貸付制度のご案内(※住居のない離職者のみ対象)

離職者を支援するための公的給付制度または公的貸付制度を申請している住居のない離職者に対して、当該給付金または貸付金の交付を受けるまでの当面の生活費を貸付けします。

注意

※詳細な貸付条件、貸付内容、償還方法などについては、お問い合わせください。

※いずれの制度も貸付制度です。償還の目的が立たない世帯は対象外となります。

※本会に申請書類を提出後、愛知県社会福祉協議会で貸付の適否について審査があります。

※貸付元利金を償還期限までに償還しなかったときは、延滞元金につき年3%の率で、延滞利子を徴収します。

※不正な申請・要求が行われた場合は、警察に通報することがあります。

※暴力団対策法に規定する暴力団員が属する世帯は、対象外となります。 ●問い合わせ先 社会福祉協議会

令和7年度会員加入のお礼

ありがとうございました



令和7年12月現在、一般2,138件、法人133件、合わせて2,271件の皆さんが、本会会員に加入し、総額3,053,000円の会費を納めていただきました。

会員の皆さんにおかれましては、本会の活動にご賛同いただき誠にありがとうございました。

この会費は、サロン活動やボランティア団体への支援、児童・生徒の

福祉実践教室の開催などに使わせていただきます。

また、会費の取りまとめにご協力いただきました関係団体の皆さんにも深くお礼申し上げます。

なお、会員募集事業につきましては、本会窓口や市役所地域福祉課窓口などで年間を通じて行っておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

【一般会員】	
2,138件	2,541,000円
【法人会員】	
133件	512,000円
【合計】	
2,271件	3,053,000円

会員の皆さんへお得な情報

本会では、会員の皆さんを対象に、車いす及び車いす専用車を無償でお貸ししています。

○車いす

歩行が不自由なかななどを対象に貸出を行っています。窓口での手続きにより、その場で貸出が可能です。ただし、入院中または入所中のかたは除きます。なお、貸出期間は3か月です。3か月を超えて車いすの利用を希望されるかたは、窓口での手続きにより更新が可能です。

目的に合わせて、2種類（自走式または介助式）の車いすからお選びいただけます。ただし、車いすの数に限りがありますので、お貸しできない場合があります。予約制ではあ

りませんのでご注意ください。



▲自走式車いす



▲介助式車いす

○車いす専用車

車いすを利用されているかたのために、車いすに乗車したまま車内に乗り入れることができる車いす専用車（車いすに乗車したままの運転は不可）をお貸しします。貸出期間は原則として1週間につき1回、3日以内です。

ただし、燃料費（ガソリン代）・通行費・駐車料などの費用は、利用者負担となりますのでご注意ください。



▲車いす専用車

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

■一般寄付 8月27日～11月25日（順不同）

寄付者名/寄付金額（単位：円）	
横地 末男 様(庄中町)	11,525
M&Eマジッククラブ 様	12,035
昭和48年3月卒業3Aクラス会 様	6,373
匿名(7件)	36,300

■物品寄付

寄付者名/物品名	
尾張旭年金者の会 様	紙おむつ2袋
渋川校区社会福祉推進協議会 様	車いす3台
匿名(8件)	紙おむつ20袋、尿とりパッド42袋、車いす1台

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

こんなとき、こんなお金をぜひ、社会福祉協議会へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

慶弔のお返しを福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。

「社協だより 尾張あさひ」【広告掲載のご案内】

社会福祉協議会の広報紙「社協だより尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか？

令和8年度春号（4月発行）に掲載の広告を募集します。

広告の掲載は有料です。広告掲載に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 社会福祉協議会 電話54-4540

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさで掲載することもできます。